

上関
未来通信

正月号

通算324号

発行 平成25年1月21日

輝く未来に向け、新たな一歩を

平成二十五年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、平素より『上関町まちづくり連絡協議会』の活動にご支援ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災からの復興に向け、国民が一九となつて取り組んだ年となりましたが、明るいニュースも数多くありました。ロンドンオリンピックでの日本選手団の活躍や、iPS細胞を開発した山中伸弥教授のノーベル賞受賞などは記憶に新しいところです。また、国内各地で観測された金環日食、東京スカイツリーの完成、暮れの衆院選では3年半ぶりの政権交代など、大きな出来事が続いた年でもありました。

一方で上関町は比較的静かな年となりました。その中で10月5日、中国電力(株)が上関原子力発電所建設予定地の公有水面埋立免許伸長を県に申請したことは、多くの町民が待ち望んでいる「原子力発電所立地による町づくり」に期待を繋ぐニュースと言えます。

安倍総理を中心とする新政権は、経済再生に積極的な姿勢をみせています。これには安定的なエネルギーの確保も必要です。原子力発電所の重要性も再認識されるでしょう。その上で上関の原子力発電所立地計画も、再スタートできる年になることを切に望んでいます。

町民の皆さまには今後とも倍旧のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成二十五年 一月吉日



新春座談会

今年は会員を増やし 活発な活動をしたい



昨年を振り返って



古泉 今日青
壮協の皆さんに
集まっていただ
きました。まず



藤井 暮れに近
い時期のほうが
印象に残りやす
いのですが、や

昨年を振り返っていかがでしょうか。

はり政権交代が最も大きな出来事だ
ったと思います。最後に少し希望が
見えたのではないのでしょうか。

古泉 一昨年の震災や原子力発電所
の事故を引きずってきて、上関町に
とっては逆風でしたが、知事選、衆
院選で私たちが期待した結果になっ
て、少し光明が見えてきたのは確か
ですね。

柏田 これだけ国政に興味を持った
年は初めてです。国の方針や政権が
上関町に大きく影響することを実感
しました。

政治家の発言

古泉 中国電力が10月に埋立免許の
伸長申請書を提出しました。しかし
知事選の時、山本繁太郎氏は「前知
事の意向を継承する」旨の発言をし

ていましたね。



柏田 上関町は
「原子力発電所が
必要」という意
思を明確にして

いるのに、県も国も慎重過ぎるよう
な気がして残念です。ただし、山本
知事は上関町の現状を十分理解され
ているので今後に期待したいですね。

古泉 一方、枝野元経済産業相は
「原子力発電所の新設は認めない原
則に、上関地点も含まれる」と発言
していましたが、町民としては「新
規立地」という感覚はなく、違和感
を覚えました。

藤井 これまで何十年にわたる町民
の苦勞も考えない、無神経な発言だ
と思います。

上関町の嬉しいニュース

藤井 上関海峡温泉「鳩子の湯」が
オープンして人気だったのがよかつ
た。町外の人たちも大勢訪れていま
すし、その人たちに上関は原子力だ
けではない印象を与えてくれたと思
います。

柏田 昨年末の議会では、懸案だつ
た「ふるさと市場」の計画が町から
発表されました。内容は見直されま
したが、建設が決定したのは嬉しい
ニュースでした。



松原 原子力発
電に厳しい目が
向けられている
中で、中電が町

道の一部改修工事を進めるといふニ
ュースもありました。中電が上関を
大切に考えてくれていいることがわか
ったのも良かったですね。

昨年の活動内容について

古泉 昨年の夏に大学からの取材を
受けたのも貴重な体験でした。当日
は青壮協のメンバーも参加していた
だき、率直な意見交換ができました。
基本的には原子力反対の学生さんで
したが「地元の声は重い。一方的な
反対はできなくなった」という意見
も出て良かったと思います。

藤井 地元の声を聞いて意見が変わ
るといふことは、その人たちには一
部の極端な活動家の声しか届いてい
ないということかも知れません。地
元の声を、全国に向けて発信できる

上関町には原子力発電所立地が不可欠

会の活動をまちづくりの原動力に

藤井 青壮協としては、積極的に活
動していく年にしたいと考えていま
す。会員を増やすことはもちろん
勉強会や研修旅行も再開したい。ま
た年次総会も開催して、気運を盛り
上げていきたいですね。

柏田 昨年は若い人も入ってくれま
した。今年も新たに会員を募集して
活動できる人を増やしていきたいと
思います。また、反対されている人
たちと話し合いの場も設けたいと思
っています。

上関町のまちづくりは?

藤井 明るい兆しは見えていますが、
すぐに動きがあるわけではないでし
ょう。その間に何ができるかを考え
なければいけません。

松原 声を出して、活動して、盛り

仕組みができればいいのですが。

柏田 町連協のホームページはす
にありますが、これらをうまく利
用して、原子力を推進する立場とし
て情報発信できればいいですね。

古泉 また、昨年は原子力産業協会
とのつながりができました。同協会
では会合などを主宰して情報交換の
場を設けているようなので、青壮協
のメンバーにも参加してほしいと思
っています。

柏田 ぜひ参加したいと思います。
地域同士の意見交換会などで、そこ
に住んでいる人の生の声を聞けると
いいですね。

*原子力の平和利用を目的に活動する一般社団法人。原子力産業の企業を中心に構成されている。

新春のご挨拶

上関町まちづくり連絡協議会
顧問 井上勝美

昨年は、一定しない国の態度に
振り回された年でした。このため
町としての方針も定まらず、私た
ちも思い切った行動を起こすこと
ができませんでした。新政権には
明確な方針を期待しています。

一方、昨年の原子力発電所事故以来
原子力は安全性のみが争点になっ
ています。しかし、国の根幹を支え
るエネルギーや技術、暮らしに直
結する経済など重要な要素も持っ
ています。誘致を進めている上関
町では、長い目で見た推進活動を
進めていかなければなりません。

一方で工事が一時中断している
現状でも、町づくりを止めること
はできません。行政だけに頼るの
ではなく、住民が持っている能力
を集結して、できることから始め
ていきたいと思っています。

今、私は体調を崩して実働が難
しい状況ですが、30年間取り組ん
できた原子力推進の経験や知識、
人脈などを通じて協力していき
たいと思います。本年もよろしくお
願いいたします。

後記

●座談会では忌憚のない意
見交換ができました。みん
な真剣に上関の町づくりを
考えており、意見を出し合
うことで見えてくるものが
あると感じました。今後このよ
うな場を設け、具体的な活動に結
びつけていきたいと思います。

●一昨年の福島第一原子力発電所
の事故以来、上関町も厳しい状況
が続いています。しかし、できるこ
とはたくさんあるはず。若い
人たちとも力を合わせ、町づくりに
取り組むたいと思います。本年
もよろしく願いいたします。(K)